第

2003

号



1994年1月6日創刊·毎日発行

リーダァスクラブFAXニュース

(2002年)平成14年 3月 7日 木曜日

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-6209-7678

発行所

株式会社 FPシミュレーション 編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax:06-6209-8145

△ 国税庁の定員は5年連続の減少

(: 国税庁の平成14年度の予算案が公表さ れたそうですが、概要を教えてください。

 $oldsymbol{A}$:定員については252人の純減で、5年連 続の減少となっています。

【解説】

国税庁が公表した平成14年度の予算概要 (定員・機構・経費) によると、定員につい ては252人の純減で、5年連続の減少となるな ど、緊縮予算となったことがわかりました。 国税庁の平成14年度末の定員は56,466人とな る予定です。

機構については、増加する事前照会や異議 申立て等に適切、迅速に対応、審理機能の充 実強化を図るため、東京・大阪国税局の2局 に審理課を新設、その他の局にも審理官を新 設し、主要署の審理専門官も増設することと しています。

また、国際化、高度情報化等への対応を強 化するため、国税局、主要署に国際税務専門 官、情報技術専門官等の専門職を増設します。

滞納整理の強化としては、東京・大阪局に、 新規に発生する少額の滞納事案を一括して集 中的に処理する集中電話催告センター室(仮 称)を設置、今年7月から業務を開始する予 定となっています。

その他、納税環境の整備として納税者支援 調整官、税務相談官を増設、さらに今年から は国税庁にも情報公開室が設けられることに なっています。







